

# 一株トマト定植体験 in 紀ノ川農協

3月27日 此花地域活動委員会(大阪市) 参加43名(うち子ども20名)

**産直 一株トマト 冷蔵**

注文は予約制です  
5月4回の注文書まで  
ご予約できます  
コースをお選びください

**お届け週はこちら**  
5kg 8週コース……6月1回～7月4回  
4kg 6週コース……6月2回～7月3回

- ・期間中、毎週お届けがあります
- ・週により500g、750gのお届けになります



こうやって野菜植えてんねんで大変やろ??



お母さんも子どもさんに野菜作りの大変さを伝えます

雲ひとつない快晴の空のもと、畑に子どもたちのにぎやかな声が響き渡ります。毎年6月～7月の期間限定でお届けする一株トマト。その苗の定植体験が行われました。

まずは、約2000株の苗を1人で育てている堂本さんのビニールハウスへ。3月3日に定植したばかりの苗の様子を見学しました。そして、トマト作り約20年の生産者であるトマト部会長の山田さんのハウスへ移動し、3グループに分かれて定植体験スタート!! 苗は、病気に強い品種とおいしい実がなる品種をそれぞれ木していることや、咲いている花を通路側に向けて植えることにより、実の育ちも良くなり収穫もしやすくなるなど山田さんの説明を聞きながら土に穴を掘っていきます。子どもさんもお母さんに手伝ってもらいながら手際よく苗を



定植をする山田さんのハウスへ。ハウス内は少し暑いくらいでした

植えることができました!! 「自分の植えた苗に名前書いておきたいね」「おいしい実になってお家に帰ってきてね」と、トマトの成長の成長を楽しみにハウスを後にしました。(収穫までにあと2回、このハウスに訪問する予定です)

トマト作りは生きがいですね! これからどんどん大きくなっていくので楽しみです!

一株トマト作りを始めてまだ3年目の堂本さん

# 春のおすすめ商品試食会

3月2日 城東南地域活動委員会(大阪市) パルコープ東中浜店組合員集会所 参加10名



2月より「鉄分入り」にリニューアルした「やまなみ強太」をみんなで試飲しました

地域活動委員会では、定期的に委員さんが集まって様々なとくみくみを計画しています。今回は、生協のおすすめ商品を地域の組合員さんに広めたいと、試食会が開催されました。

試食の前に、3月に新登場したパルオリジナルバナナをはじめ、リニューアルした商品や、人気の商品、これまでに委員会で行なった活動などについて交流し、今後の予定の確認を行いました。

事前に準備していた炊き込みご飯も炊き上がり、いよいよ試食会のスタートです!! 今回試食したのは、鶏ごぼう釜めしの素と、上麺 香味醤油・熟辛味噌 など。ラ

《上麺 香味醤油》  
次回企画：6月1回  
7月1回



残り野菜を使ったらいいね!



すぐに食べられるように下ごしらえした食材

組合員活動では「食」「平和」「環境」「くらし」など、さまざまなテーマで各地域が多彩なとくみくみを行なっています。

# 「農業・農地が果たす多面的な役割」

～作物をつくるだけ?～

京橋本部 参加132名(組合員活動委員)

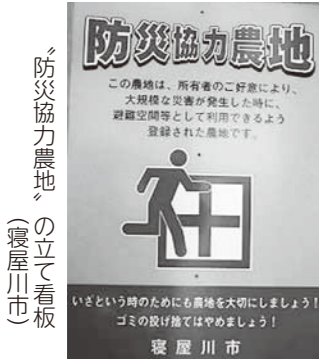
まずは、大阪の農業がどのような状態なのかを話されました。「大阪農業の特徴は、農家一戸あたりの耕地面積が全国最小。市街化区域の割合が高い中でも頑張っている」ということです。農業県ではない大阪ですが、実は春菊の生産量は全国で2位、落やいちじくは全国で3位を誇ります」と池嶋さん。しかし、「作物の生産量だけで農業を判断するのではなく、農業・農地が果たす多面的な役割も知ってほしい」と、

## 2014年度 第6回 推進学習会 (3月12日)



講師の池嶋明さん

もともと農耕民族である私たち日本人が大切に育んできた田畑。今の農業の現状を知ることだけではなく、農業・農地が果たす多面的な役割を再発見しようとする学習会が開催されました。講師にお招きしたのは、JA大阪中央会 食と農・環境対策部 次長の池嶋明さん。



防災協力農地の立て看板 (寝屋川市)

続けます。「①新鮮で安全な農作物の供給②農業体験・交流活動の場③心やすらぐ緑地空間④都市住民の農業への理解の醸成⑤国土・環境の保全⑥災害時の防災空間」と登録されている土地は、大阪では寝屋川市・守口市・貝塚市・堺市の4つの市にしかありません。災害時には農地が避難地などの役割を果たします。農家は災害に強いまちづくりには貢献でき、農産物や土地の補償を受けられます。この制度は市民・農家・行政のそれぞれに利点がある優れた仕組みです。ぜひとも広まればよいと思います」と話されました。

# もしもの時にどうするの? “ぱるむ”学習会

2月25日 交野南・東合同地域活動委員会 交野組合員集会所 参加37名



葬祭式場パーティ支配人 正寄英夫さん



正寄さんご指導のもと、お焼香・玉串奉奠・献花の実践練習も行いました

生協で葬祭事業があることも組合員さんに知ってもらいたいと、パルコープと提携している葬祭式場パーティさんをお招きし、学習会が行われました。「お葬式を事前に知っておきたい、自分はどうしたいか先に決めておいて、毎日の生活を前向きに過ごしたい」という人が増えてきています」とパーティの正寄さん。

まずは、死亡診断書が発行されてから火葬に至るまでの流れを説明していただきました。その後、費用についての



お通夜の時にふるまうお食事も試食

「今まで聞く機会のなかった話が聞けた。参考になった。今後の心づもりができた」と充実した学習会となりました。

お話が。「火葬料については、市民料金」というものがあります。しかし、交野市には火葬場がないため市外で火葬することになり、料金は少し高くなっています。」「など、正寄さんの細かい説明に、参加されたみなさんは真剣に聞き入ります。「以前、想像以上に費用がかかってびっくりしたことがあった。今日はよく聞いて帰りたい」とおっしゃられる参加者もおられ、たくさんの方の質問も出されました。

「お通夜の時にふるまうお食事も試食した学習会となりました。」



“ぱるむ”のパンフレットをもとに学習を進めます